



事業譲渡の可能性試算

スターシップホームページで提供

北陸が地盤のM&A。その可能性や金額を簡単に大に上げる考え。月10(合併・買収)仲介、スに試算できるシステムを件程度の利用を見込む。スターシップホールディング 開発し、ホームページで 開発した「M&A格付グス(金沢市、島嘉伸社 サービスの提供を始めた けツール」では、純資産長)は18日、事業を譲渡と発表した。無料で提供 や借入金などのデータしたい中堅・中小企業がし、M&A助言契約の拡 や、売上高、利益など収

益面の企業情報を入力。さらに従業員数や業種、自社がどの成長ステージに位置しているか、特異な技術の有無など30項目の質問に答える。所要時間は5〜10分程度。回答すると、事業譲渡先が見つかる可能性を「AAA」から「E」まで7段階評価で示した格付けと、いくらで譲渡できるかの試算額を提示する仕組み。利用を見込むのは、後継者不足などで事業譲渡を検討する中堅・中小企業の経営者。島社長は「利用者の1割程度が実際に当社へM&Aの相談に来て、ビジネスにつながってほしい」と話す。